

## SB623 のアルツハイマー型認知症を対象とした共同研究について

サンバイオ株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:森敬太、以下「サンバイオ」)は、11月21日、慶應義塾大学医学部と、当社開発品 SB623 のアルツハイマー型認知症を対象とした共同研究に関する契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

アルツハイマー型認知症は、脳内での老人斑(アミロイド  $\beta$  の斑状蓄積)及び神経原線維変化(タウの線維状凝集体)の多発を特徴とし、これらの影響で脳の神経細胞の働きの阻害や神経細胞の死滅が引き起こされると考えられている進行性の病気です。病気の進行に伴い、記憶、言語、計算、判断といった認知機能障害が症状として現れ、日常生活や社会生活に支障をきたします。日本において、アルツハイマー型認知症は認知症の原因疾患として最も多く、アルツハイマー型認知症の患者数は、2025年には約450~500万人に達し、その後も年々増加すると推計されています<sup>1</sup>。

今回の共同研究では、アルツハイマー型認知症の特徴である神経原線維変化を再現した、ヒトiPS細胞由来の3次元培養脳モデルを活用して、アルツハイマー病患者様病態に対するSB623の有効性評価およびそのメカニズム解析を行い、臨床試験に進む為に必要なデータの取得を目指します。サンバイオはこのような協力を通じて、引き続きアルツハイマー病をはじめとする神経変性疾患に対するSB623の開発を進めてまいります。

### 慶應義塾大学について

(1) 名称	慶應義塾大学	
(2) 所在地	東京都港区三田2丁目15番45号	
(3) 代表者の役職・氏名	塾長 伊藤 公平	
(4) 資本金	学校法人のため計上なし	
(5) 設立年月日	1858年10月	
(6) 慶應義塾大学との間の関係	資本関係	記載すべき資本関係はございません。
	人的関係	慶應義塾大学医学部生理学教室 岡野 栄之 教授がサンバイオの創業科学者として顧問を務めております。
	取引関係	記載すべき取引関係はございません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はございません。

### SB623について

SB623 は、健康成人骨髄液由来の間葉系幹細胞を加工・培養して作製されたヒト(同種)骨髄由来加工間葉系幹細胞(国際一般名:バンデフィテムセル)です。脳内の損傷した神経組織にSB623を移植すると、損傷した神経細胞が本来持つ再生能力を促し、失われた機能を回復させる効果が期待されています。慢性期外傷性脳損傷および慢性期脳梗塞を含む複数疾患を対象に研究・開発を進めています。

### サンバイオについて

サンバイオは、再生細胞薬の研究、開発、製造及び販売を手掛ける再生細胞事業を展開しています。既存の医療・医薬品では対処できず、アンメット・メディカル・ニーズが高い中枢神経系領域の疾患を主な対象としています。東京に本社、カリフォルニア州マウンテンビュー、シンガポールに子会社を置くサンバイオグループの詳細は、<https://www.sanbio.com> にてご覧いただけます。

### <出典>

<sup>1</sup> 厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究事業. 日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究. 平成 26 年度総括・分担研究報告書.

<https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2014/141031/201405037A/201405037A0001.pdf>

### 本件に関するお問い合わせ先

■ サンバイオ株式会社

経営管理部

メール:[info@sanbio.jp](mailto:info@sanbio.jp)